

特別講演・シンポジウム

テーマ：“競技力革命” –さらなる向上に向けたケアと戦略–

特別講演講師

福永 哲夫 氏
(早稲田大学スポーツ科学学術院 教授)

「競技力革命のための肉体改造 (仮題)」

1971年、東京大学大学院修了。1973年から中京大学体育学部、1979年から東京大学を経て、2002年から早稲田大学スポーツ科学部教授となる。現在、早稲田大学スポーツ科学学術院教授、東京大学名誉教授であるとともに日本バイオメカニクス学会会長、NSCA ジャパン理事長、日本ゴルフ学会副会長をはじめ多くの重職を務め、日本の運動生理学およびバイオメカニクス界の第一人者として活躍している。主な著書に『筋の科学事典』(朝倉書店)、『貯筋通帳』(リニマガジソ)、『骨格筋に対するトレーニング効果』(ナッパ)、『トレーニング科学ハンドブック』(朝倉書店)、『日本人の体脂肪と筋肉分布』(杏林書院)などがある。

シンポジスト

小林 和典 氏
(東海女子短期大学 助教授)

「チームスポーツにおける最先端戦術 (仮題)」

1989年、早稲田大学卒業。ホッケー選手としてアジアカップ、国際ホッケー大会、アジア大会をはじめ数々の国際大会に全日本代表として出場する。1989年から東海女子短期大学に赴任し、同大学の女子ホッケー部監督となり、全日本学生ホッケー選手権大会など多くの全国大会制覇に導く。1995年、女子日本代表ホッケーチームのコーチに就任し、アテネオリンピックでもその手腕を発揮した。2004年からは女子日本代表ジュニアホッケーチーム監督に就任し、最先端の戦略分析を用いながら世界レベルへの挑戦を行なっている。

中辻 正氏
(岐阜整骨院 院長)

「競技力向上のための筋ケア (仮題)」

1977年、中部柔整専門学校卒業。接骨院、カイロプラティッククリニック、トレーニングセンター、整骨院を次々に開設する。1998年には、徒手療法研究会を設立し、岐阜・名古屋を中心に筋治療セミナーを実施している。現在は、岐阜整骨院長および徒手療法研究会代表を務めながら、名古屋(中和医療専門学校)、東京(東京柔道整復専門学校)、広島(IGL 医療専門学校)にて筋治療セミナーを開講しており、近々、北海道や大阪においてもセミナー開講予定である。柔道整復師、アスレチックトレーナーおよび柔道整復師専科教員資格を有する。

中村 好志 氏
((有) ケイ・スポーツ・アイコンス 取締役)

「一流プロスポーツ選手の最新コンディショニング (仮題)」

1988年、日本体育大学卒業。1995年に渡米し、コンディショニングを学ぶ。1997年、トレーナー学校のIPSBを卒業後、1999年「米国K Sport Icons」を設立しメジャーリーガーなど、多くのスポーツ選手のコンディショニング・サポートを務める。2001年、帰国後にスポーツ選手のコンディショニングを科学する会社「(有) ケイ・スポーツ・アイコンス」を設立。「筋肉をデザインする」というコンセプトをもとに、筋力測定とアドバイスを行なっている。大学、高校、社会人のチームやスポーツ選手、医療メーカー、製薬会社と契約し、最新スポーツ科学に基づいたコンディショニングや個々の能力に適したトレーニングメニューの提供を行なっている。著書に『ピッチング革命』、『バッティング革命』、『筋肉メイクBOOK』(共に永岡書店)がある。